

「働く女性応援隊ひろしま」の枠組みを活用した広島県女性活躍促進事業【広島県】

地域の実情と課題

少子高齢化により生産年齢人口が減少する中、広島県経済の活性化を図るためには、潜在的な労働力である女性が活躍できる環境を整備し、企業を支える人材を確保することが重要であるが、県内企業においては次の課題がある。

男性中心の働き方、長時間労働等の見直し、子育てしやすい職場環境の整備、男性の育児休業等の取得促進、女性の管理職の登用促進 等

事業の特徴

経済団体、労働団体、行政が一丸となって、女性の活躍を促進する取組を企業に働きかけ、支援するため、平成26年4月に結成した「働く女性応援隊ひろしま」の枠組みを活用し、応援隊各構成員と相互連携を図りながら取り組みを実施。

事業の効果

- ・働く女性応援リレーセミナーキックオフイベントを通じた参加者の満足度は87.6%。
- ・広島県女性活躍推進アドバイザー認定者は19人、H27部署設置企業数は203社であり、成果目標(25人育成、250社設置)の8割を達成した。
- ・働く女性応援企業メンター養成研修は43人が研修会を修了した。
- ・キャラバンの実施により、従業員規模31～100人の一般事業主行動計画を新たに策定した県内企業は146社(目標:300社)

目的・目標

【目的】

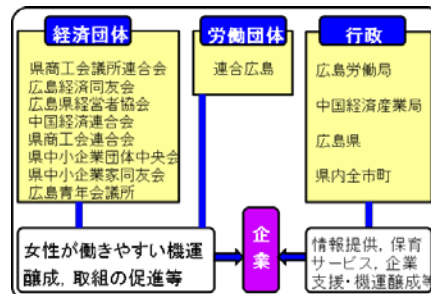
「働く女性応援隊ひろしま」の宣言及び応援隊の構成員としての広島県の役割に基づき、応援隊の事業目標数値達成に向けて、効果的な取組を他の構成員と連携し実施。

【目標】

- ・県内企業における女性の活躍担当部署の設置(企業内推進体制確立)
H27:250社、H32:1,500社(累計)
- ・一般事業主行動計画の策定率 H27:49% H32:80%以上
- ・ポジティブ・アクション情報ポータルサイトの登録企業数等
H27:170社 H32:指導的地位に占める女性の割合30%
- ・男性の育児休業取得率 H27:8% H32:13%

連携団体

【「働く女性応援隊ひろしま」による企業への働きかけイメージ】



今後の課題

今後も、働く女性応援隊ひろしまの枠組みを更に活用し、経済団体や労働団体、行政が連携し、構成員による県内各地での継続した取組を進めることが重要である。

事業の概要

(1)働く女性応援キックオフイベント及びリレーセミナー

県内企業に対し「働く女性応援隊ひろしま」の活動知名度を向上させるとともに、企業における女性の活躍促進に関する取組の機運を醸成し、企業内推進組織の設置を促すため、応援隊各構成員によるセミナーを県内各地で開催した。

なお、県内展開にあたり、キックオフイベントセミナーを開催し、その後、「リレーセミナー」として各構成員の取組につなげた。



(2)女性の活躍先進事例普及事業

女性の活躍促進に関する先進的取組事例ノウハウを企業へ普及させることで、企業における取組を促進する。

①「女性の活躍促進企業取組先進事例ノウハウ導入手引書」に基づく取組実践効果の分析

・平成26年度に作成した手引書を活用した取組の成果等を検証し、ツールの有効性を確認した。また、女性活躍推進法の制定を踏まえつつ、取組の結果も盛り込んだ手引書の改訂を行った。

②企業に対する取組の実践手法指南のため、社会保険労務士等を対象とした「女性活躍推進アドバイザー養成講座」の実施

・社会保険労務士は、企業の労務管理等に関する相談・指導を専門としており、企業に対する女性の活躍促進に関するノウハウの指南役として適任であることから、社会保険労務士等を対象に手引書やツールの活用方法を習得させ、指南役としての人材育成を図った。

・養成講座受講生(社会保険労務士等)は、実践研修として企業訪問を行い、平成26年度に作成した手引書の活用を促すとともに女性活躍推進部署設置を行った。

(3)働く女性応援企業メンター育成事業

女性の仕事と家庭の両立等に関する意識の醸成や不安解消のため、企業において後輩を指導し、相談に乗り、悩みの解決に導く指導者(メンター)の育成研修を実施した。

(4)男性の育休等取得促進取組事例集の作成事業

男性の育休取得を促進するため、企業が参考にできる取組事例集(取得に至るまでの企業側の準備事項、休業中の対応等の事例)を作成し、企業に対して事例集の活用を働き方の見直し等の意識醸成につなげるよう促した。

(5)一般事業主行動計画策定促進市町キャラバン

子育てしやすい職場環境の整備を図るため、一般事業主行動計画未策定企業(従業員数31~100人)を対象に計画策定講習会を開催し、計画策定を推進した。